

審議会答申に対する教育委員会の考え

答 申	教育委員会の考え
1 子どもたちが新しい学校生活に順応していけるよう、開校等に向けた取り組みを着実に行うとともに、子どもたちの成長を育んでいける学校づくりを進めること。	子どもたちが新しい学校生活に円滑に順応できるように、学校と協議しながら、児童の事前交流を実施するなど、開校・併設に向けた準備を着実に進めていきます。 また、本市が目指す学びの考え方を示した「ナゴヤ学びのコンパス」に基づく新たな教育方針の策定を進めるとともに、小学校と中学校との併設によるメリットも活かした、新しい学校づくりの準備を進めていきます。
2 子どもたちがのびのびと安心して学校生活を送ることができるよう、校内における安全に十分配慮すること。	小学生と中学生との心身の発達の差も考慮し、国の指針や先進的に取り組んでいる他都市の事例等を参考にしながら、子どもたちの安全に十分配慮した施設整備や運用を検討していきます。
3 保護者や地域の声を聴きながら、関係行政機関と連携し、熱中症対策を含む通学の安全対策に取り組むこと。	統合に向けた懇談会(学校、PTA、地域住民で組織)において、通学路や交通安全、防犯、熱中症対策等について検討し、警察や土木事務所等の関係行政機関と協議しながら対策を進めていきます。
4 小学校統合校と中学校との併設校の施設整備にあたっては、安全に十分配慮することに加え、「子ども中心の学び」の一層の充実に向けた学習環境等の整備を進めること。また、跡地活用について、関係部局と連携し、活用方法を検討すること。	個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて、学校施設全体を学びの場として活用することができる学習環境の整備を進めていきます。 跡地活用について、防災機能やコミュニティ機能など、地域に必要な機能に配慮しながら、活用方法を検討します。

審議会答申の補足事項

保護者や地域の中には不安や懸念の声もあるため、今後この統合を進めるにあたっては、教育委員会として丁寧な説明と対応を行ってください。

<参考>

審議会答申に対する対応案

答申	対応案(過去の統合校・先進的な他都市の事例)
新しい学校生活への順応	・ 統合前の事前交流活動 (学年ごとのレクリエーション・学校行事など) ・ スクールカウンセラーの相談体制強化 ・ 通学支援員の雇用
併設校での学校生活における安全	・ 小学校と中学校が主に使用する教室を、階層ごとに分けて配置 ・ 昇降口を小学校と中学校とで分けて配置 ・ 時間割やチャイムなど運用面での工夫
通学の安全対策	・ ガードパイプの新設 ・ 歩行者先行信号や横断歩道の新設 ・ 避暑やすみスポットの設置促進 ・ こども110番の家の設置促進
学習環境の整備	・ 多目的スペースの整備や可動式ロッカーの設置による柔軟な学習空間の実現 ・ 調べ学習、自主・自発的な学習を手助けする図書室等の整備 ・ 内装の木質化、空調設置、バリアフリー化
跡地利用	・ 指定避難所としての機能維持

